

令和6年度
第2回 大野市文化財保護審議会
会 議 録

日 時 令和6年11月22日（金）9：00～17：00
場 所 大野市役所 談話室、県内研修（越前市・福江市）

大野市文化財保護審議会

- 出席者 ○委員 7 名
 ○教育委員会事務局長
 ○事務局 5 名

委嘱状交付

局長あいさつ

本日は、大変お忙しい中、本年度、第 2 回文化財保護審議会にご出席いただき感謝する。

今回、新たな任期に際し、本来であれば教育長の久保が挨拶をするところだが、出張のため、代わって事務局長の横田が挨拶をする。

この度は、11 月 1 日からの新たな任期による文化財保護審議会委員を依頼したところ、快くお引き受けいただき、重ねてお礼申し上げます。

今回、新たに、川田委員をお願いし、7 名の委員で構成することとなった。川田委員には、新たな視点で意見を聞かせていただきたい。引き続きお願いした委員には、これまでの協議内容を継続発展していただきたい。

昨年度は、「奥越史料」第 3 7 号の発刊に際して、貴重な考察を発表いただき、感謝する。今後も、協力をお願いする。2 年間、どうぞよろしくお願いする。

委員自己紹介

事務局自己紹介

会長の選任

会長挨拶

文化財の健全な発展に尽力をしてきたい。

報告事項

(1) 大野市博物館運営協議会委員

(2) 県指定史跡「越前大野城跡」石垣崩落と修復工事

委員：石垣の排水の状況を聞きたい。

事務局：修復に際しては県の文化財保護審議会会長の確認を得て作業を行った。当該箇所は、昭和 40 年代に修復していることから、当時の図面も参考にした。当該箇所に特段の排水機能は確認できなかった。元に復するため、新たな排水機能も付けていない。

(3) 国指定天然記念物「専福寺の大ケヤキ」再生事業

委員：支柱が基礎との接地面から腐蝕することが危惧される。工法や経過に注意が必要。

委員：土壌改良のための穿孔の深さはどれほどか。

事務局：1メートルほど。現場判断で変わる。水圧でほぐすため、穿孔の深さ以上にほぐすことができる。

(4) 旧橋本家住宅 差茅

(5) その他

委員：今年度の神像・仏像調査の状況を聞きたい。

事務局：一次調査を上庄地区を中心に10件行った。次年度以降の二次調査につながる結果を得られた。8月に専門家を招いて二次調査を行い、昨年度に一次調査を行った神社のうち4件を対象とした。古い神像がよく残されていると評価を受けている。保護のための措置が必要だが無住の神社が多く、指定によって所在が明らかになってしまうことは防犯上の観点から望ましくない。扱いを慎重に行いたい。

委員：指定により所在が明らかになったことで盗難被害が発生することはよく耳にする。慎重に管理状況を見極めて欲しい。二次調査が終わった段階で、審議会でも状況を確認したい。

事務局：承知した。

県内研修

主旨：他市の博物館を視察し、様々な文化財の現状を知ることで、本市の文化財保護に資する。

視察先：・しきぶきぶんミュージアム「光る君へ 越前 大河ドラマ館」

- ・大河ドラマの展開に応じて展示のリニューアルを行っているが、展示の基軸は一貫させている。
- ・見学者の誘導対応のスタッフを、平日で10名程度を配置している。(受付・売店を除く)
- ・大河ドラマの画像や映像を多用し、視聴者が理解しやすいよう工夫している。
- ・売店には大河ドラマ館オリジナルの商品の他、越前市の土産品も合わせて販売している。
- ・越前市武生公会堂記念館 紫式部・源氏物語関連企画展(2)「紫式部の時代のほとけさま」

- ・紫式部・源氏物語関連企画展として年に4回開催する。(見学は第3回目の企画展)
- ・しきぶきぶんミュージアム「光る君へ 越前 大河ドラマ館」の入館記念証の提示で記念グッズ(クリアファイル)を配布することで、館に人を誘導している。
- ・紫式部や源氏物語を直接関連させることにはこだわらず、平安仏を展示。
- ・所蔵する寺院の紹介は抑え、仏像の見どころなどを紹介し、見学者の理解を促進している。
- ・福井市立郷土歴史博物館 特別展 鉄の名工 越前明珍
 - ・精巧な工芸品類を見学しやすいよう、壁面ケースだけではなく独立ケースを活用して展示。
 - ・福井藩主家だけではなく他地域に残る作品を展示することで、明珍家の活躍の波及を紹介。
 - ・自在置物の動きの様子を、東京国立博物館作成動画を上映して紹介。余計な演出がなく、知りたいところを知ることができる構成になっている。

県指定史跡「越前大野城跡」石垣修復事業

令和6年能登半島地震の影響により崩落した県指定史跡「越前大野城跡」の武具蔵跡南側の石垣を修復した。令和6年7月31日完了。



石垣修復 1

着工前



石垣修復 1

作業状況



石垣修復 1

完了後

国指定天然記念物「専福寺の大ケヤキ」再生事業

1 事業実施方法

(1) 土壌改良

水圧穿孔法を用いて土壌をほぐし、通気透水性を向上させるため、掘った穴に竹の筒を差し込む。



[事例]

水圧穿孔法による根の環境改善

国指定天然記念物「川棚のクスの森」(山口県下関市)平成29年度大規模枯損

下関市ホームページより

(2) 樹幹の腐朽処置

樹木医監督の下、腐食箇所を除去し、殺菌剤の散布及び防腐処置を行う。



(3) 屋根支柱取替

クレーン車で柱を吊り上げ、既存柱4本の撤去及び新設柱4本の取付を行う。新設柱は既存柱と同サイズ。8m超の柱を必要とするため、杉材を使用する。新設柱はコンクリート土台に固定する。



(4) 枯れ枝の切除

4箇所枯れ枝を伐採し、樹木医監督の下、切り口の防腐処置を行う。

2 スケジュール

事業内容	11月	12月
枯れ枝の切除	➡	
樹幹の腐朽処置	➡	
屋根支柱取替	➡	
土壌改良		➡

旧橋本家住宅差茅について

1 事業概要

修繕費：1,468,170円（内消費税133,470円）

施工者：(有)山本製材

完了日：令和6年7月22日



【着工前】屋根西面



【修繕後】屋根西面

長さ 70~80cm

2尺締め

350束



【修繕後】屋根北面

2 差茅見学会

開催日時：令和6年6月18日（火）午前10時30分～正午

内 容：旧橋本家住宅の概要説明、差茅作業の見学・説明、マンサクをねる・結ぶ実演

参加者数：55名

内 上庄小学校40名（児童（5・6年生）38名、引率2名）

一般参加者6名

報道機関3名

市内外の文化財行政関係者6名



見学会当日の橋本家全景



差茅見学



マンサクをねる実演

令和6年度大野市文化財保護審議会 県内研修要項

- 1 目的 他市の博物館を視察し、様々な文化財の現状を知ること、本市の文化財保護に資する。
- 2 視察先 しきぶきぶんミュージアム (越前市)
「光る君へ 越前 大河ドラマ館」
昼食 (越前市内)
越前市武生公会堂記念館 (越前市)
「紫式部・源氏物語関連企画展 (2) 国府時代の仏像」
福井市立郷土歴史博物館 (福井市)
「特別展 鉄の名工 越前明珍」
- 3 開催日 令和6年11月22日 (金)
- 4 日程 (9時00分 辞令交付式)
10時00分 大野市役所 出発
11時00分 しきぶきぶんミュージアム 見学
12時00分 昼食
13時00分 越前市武生公会堂記念館 見学
15時00分 福井市立郷土歴史博物館見学
17時00分 大野市役所 解散
- 5 担当 大野市教育委員会事務局
生涯学習・文化財保護課
電話 0779-65-5590
メール shobun@city.fukui-ono.lg.jp